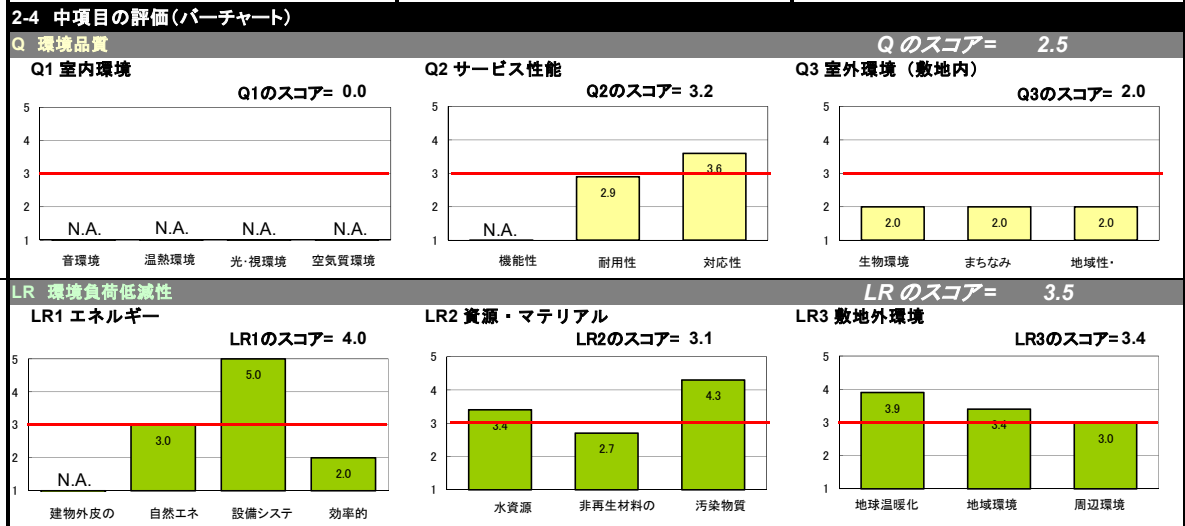
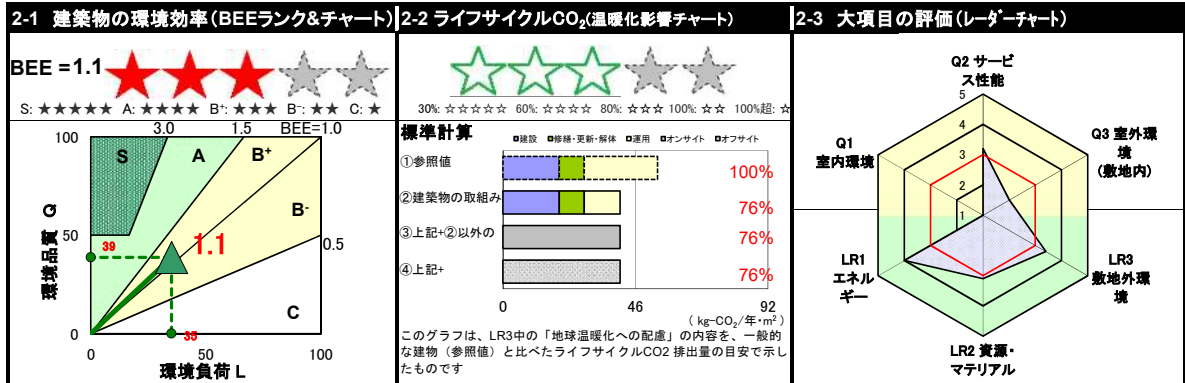


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	カリツー棟岡崎物流センター	階数	地上2階
建設地	愛知県豊田市福受町193-2 他44筆	構造	S造
用途地域	指定無し(市街化調整区域)、法第22条区域	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,400時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2020年11月 予定	評価の実施日	2020年1月7日
敷地面積	33,176 m ²	作成者	藤井良輔
建築面積	19,245 m ²	確認日	2020年1月7日
延床面積	18,687 m ²	確認者	藤井良輔



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.9</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>27.1%</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0%</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.0</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建築面積} - \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体
		Q 建築物の環境品質												
Q1 室内環境														
1 音環境														
1.1 室内騒音レベル														3.0
1.2 遮音														
1 開口部遮音性能														
2 外壁遮音性能														
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														
1.3 吸音														
2 温熱環境														
2.1 室温制御														
1 室温														3.0
2 外皮性能														3.0
3 ゾーン別制御性														3.0
2.2 湿度制御														3.0
2.3 空調方式														3.0
3 光・視環境														
3.1 屋光利用														
1 屋光率														3.0
2 方位別開口														
3 屋光利用設備														3.0
3.2 グレア対策														
1 屋光制御														5.0
3.3 照度														3.0
3.4 照明制御														3.0
4 空気質環境														
4.1 発生源対策														
1 化学汚染物質														3.0
4.2 換気														
1 換気量														3.0
2 自然換気性能														3.0
3 取り入れ外気への配慮														3.0
4.3 運用管理														
1 CO ₂ の監視														3.0
2 喫煙の制御														3.0
Q2 サービス性能														0.43
1 機能性														
1.1 機能性・使いやすさ														
1 広さ・収納性														3.0
2 高度情報通信設備対応														3.0
3 バリアフリー計画														3.0
1.2 心理性・快適性														
1 広さ感・景観 (天井高)														3.0
2 リフレッシュスペース														3.0
3 内装計画														3.0
1.3 維持管理														
1 維持管理に配慮した設計														3.0
2 維持管理用機能の確保														
2 耐用性・信頼性														0.5
2.1 耐震・免震・制震・制振														2.9
1 耐震性(建物のこわれにくさ)														0.4
2 免震・制震・制振性能														3.0
2.2 部品・部材の耐用年数														0.52
1 躯体材料の耐用年数														0.48
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														0.80
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														0.20
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														0.33
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														0.23
6 主要設備機器の更新必要間隔														0.23
2.4 信頼性														0.19
1 空調・換気設備														0.4
2 給排水・衛生設備														2.4
3 電気設備														0.20
4 機械・配管支持方法														0.20
5 通信・情報設備														0.20
硬質塩ビ管、塩ビライニング鋼管の使用														0.20

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:27.1%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 カリツ一(株)岡崎物流センター

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 敷地外周は市の開発許可基準に合わせ、巾5mの緑地帯を設置し、緑化及び景観配慮に努めた。また新設倉庫のトラックヤード部分は室内とし、光害・騒音の減少に配慮した。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 評価対象外
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 空間のゆとりについては主用途が倉庫であるため、高さ、床荷重にはゆとりを持たせるよう配慮している。倉庫: 1階階高は6.555m、2階は4.577m、2階倉庫床積載荷重は1.5トン/m ² を確保している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 計画地外周は緑地の緩衝帯を設置している。また緩衝帯は緩やかな勾配とし、視線の遮断、擁壁高さの低減に配慮している。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 一般照明機器をLEDとする。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型洋便器、自動洗浄小便器、自動水栓(一部)、F☆☆☆☆仕上げ材の使用。(塗装材、錆び止め、塗床材)。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 地下雨水浸透貯留槽の設置あり。従業員分の駐車場の設置あり。自転車置場(屋根付)の設置あり。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。